



嘉麻市子ども・若者の意識と生活に関する調査報告書 【概要版】

調査の概要

調査の位置付け

子どもや若者を取り巻く現状と課題を的確に把握し、嘉麻市における子ども・若者育成支援施策や家庭・地域・職域等における子ども・若者育成支援の改善・充実に資するための基礎資料を得ることを目的とするとともに、令和6年度に予定している「市町村こども計画」策定のための基礎資料とすることを目的とする。

調査方法と回収状況

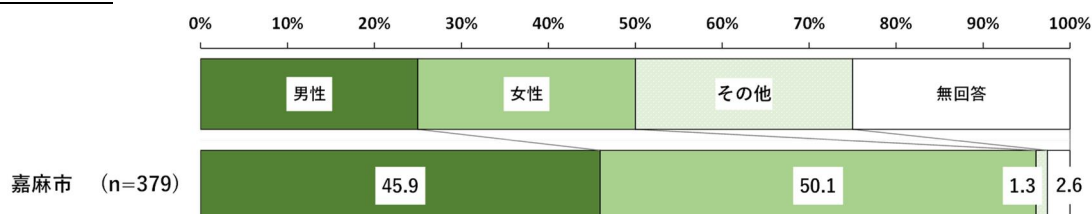
調査対象	区分	発送数	郵送		WEB		合計	
			回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率
調査対象	① 10～14歳本人	1,000	314	31.4%	65	6.5%	379	37.9%
	② 15～39歳本人	1,500	253	16.9%	142	9.5%	395	26.3%
	③ 40～69歳本人	1,700	566	33.3%	106	6.2%	672	39.5%
調査方法	郵送法（オンライン回答併用）							
調査期間	令和6年1月5日（金）から令和6年2月2日（金）まで							

※グラフ中に出てくる「国調査」は、内閣府実施の「令和4年度 こども・若者の意識と生活に関する調査」結果参照

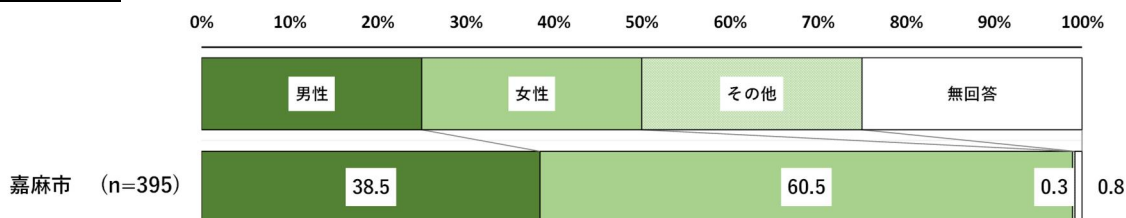
回答者の属性

【性別】

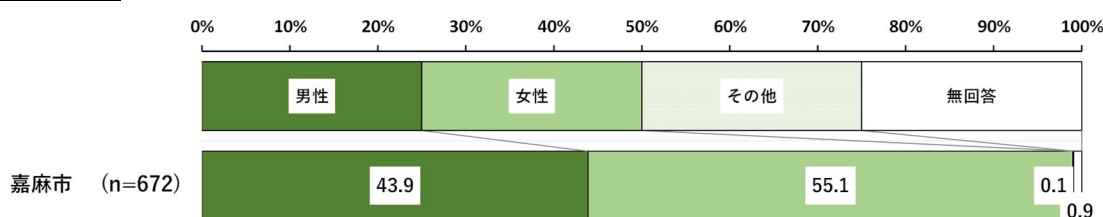
10～14歳



15～39歳

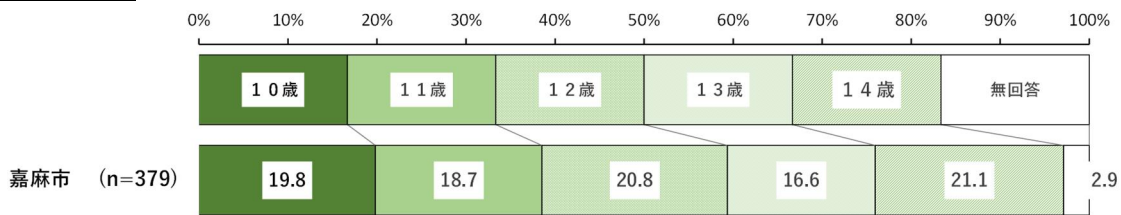


40～69歳

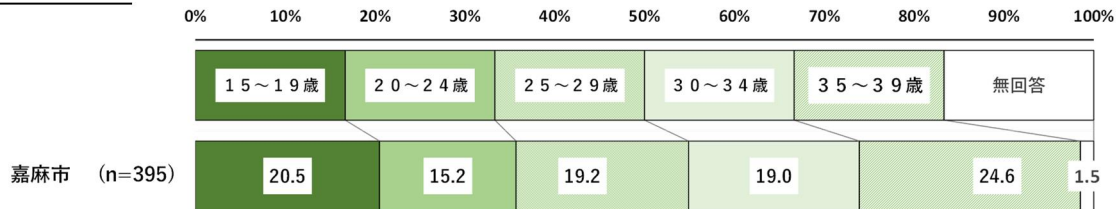


【年齢】

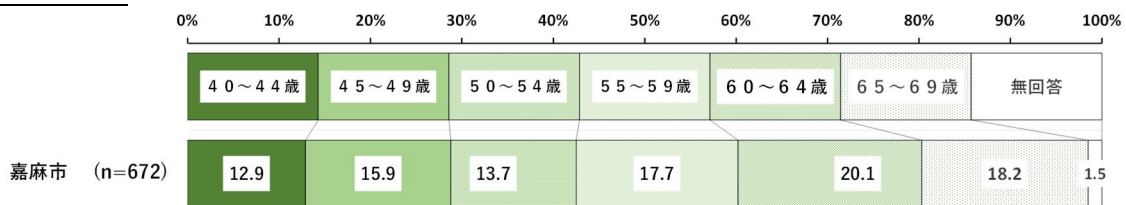
10～14歳



15～39歳

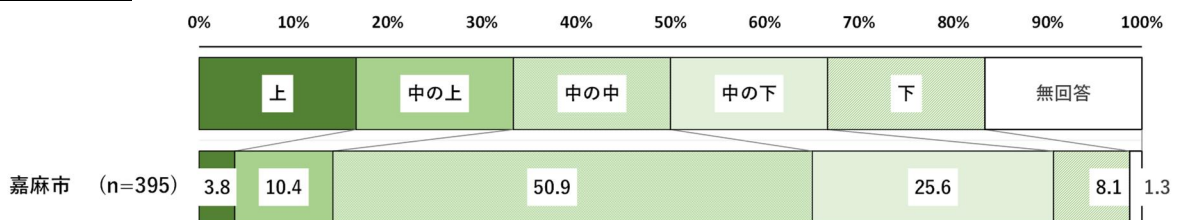


40～69歳

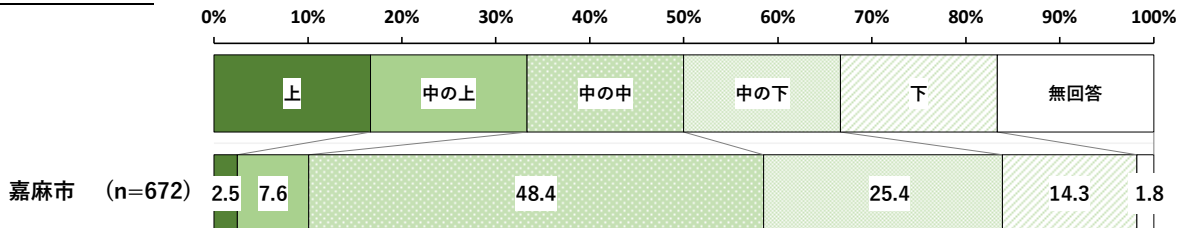


【暮らし向き】

15～39歳



40～69歳



調査結果一覧(抜粋)

1 人生観・充実度について ★自己認識

＜設問＞あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。「あてはまる」は1を、「どちらかといえば、あてはまる」は2を、「どちらかといえば、あてはまらない」は3を、「あてはまらない」は4を選んでください。(それぞれについて1つ)

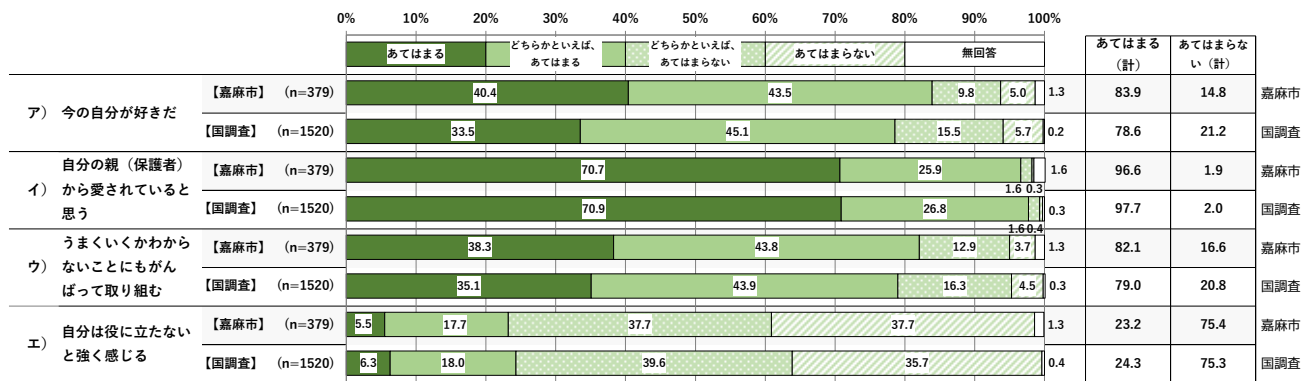
10～14歳

本市で『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」）の割合が最も高いのは、“自分の親（保護者）から愛されていると思う”（96.6%）となっている。

国調査で、『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」）の割合が最も高いのは、“自分の親（保護者）から愛されていると思う”（97.7%）となっている。

また、本市で『あてはまらない』（「どちらかといえば、あてはまらない」+「あてはまらない」）の割合が最も高いのは、“自分は役に立たないと強く感じる”（75.4%）となっている。

国調査で『あてはまらない』（「どちらかといえば、あてはまらない」+「あてはまらない」）の割合が最も高いのは、“自分は役に立たないと強く感じる”（75.3%）となっている。



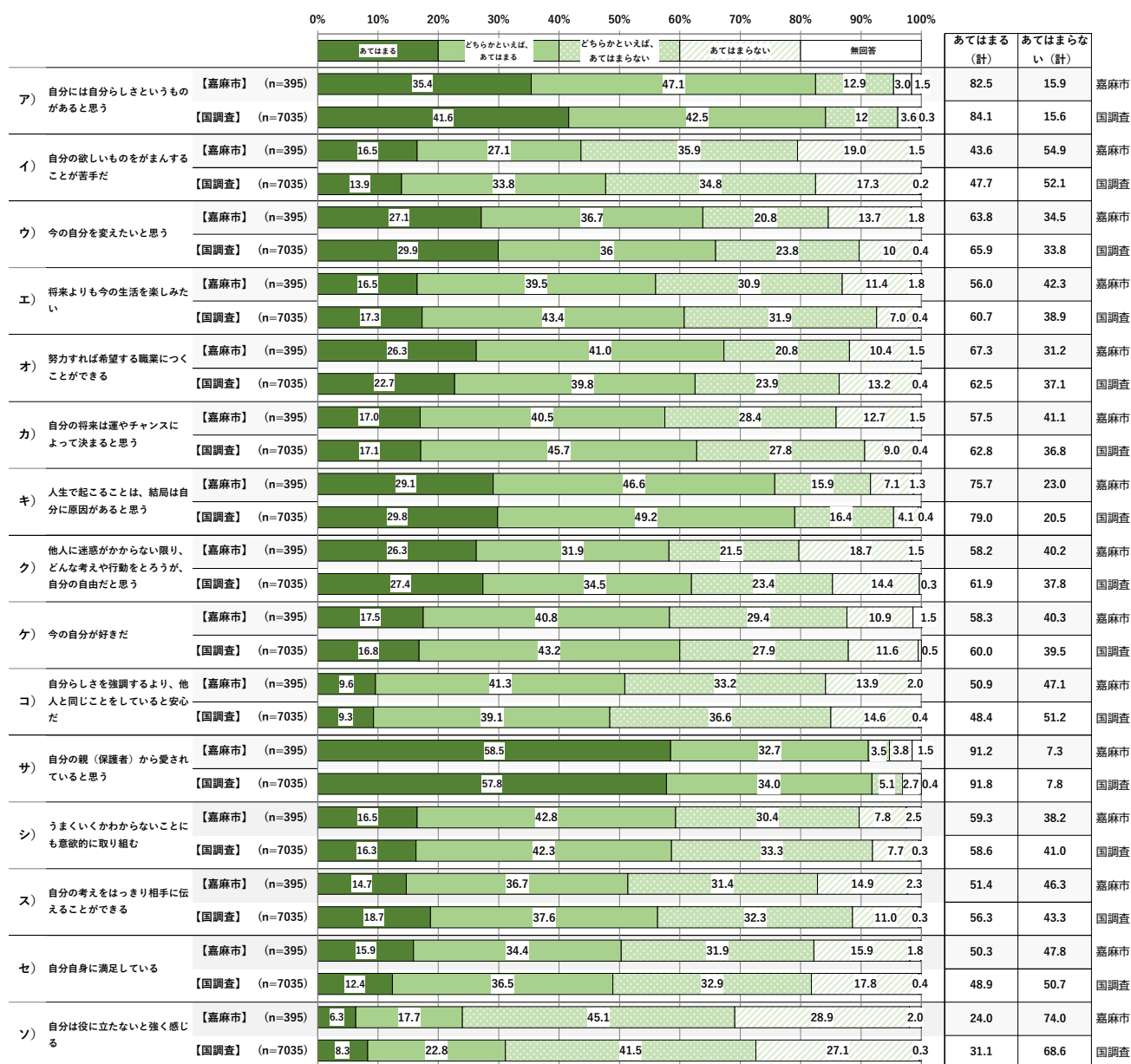
15～39歳

本市で『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」）の割合が最も高いのは、“自分の親（保護者）から愛されていると思う”（91.2%）となっている。

国調査では『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」）の割合が最も高いのは、“自分の親（保護者）から愛されていると思う”（91.8%）となっている。

また、本市で『あてはまらない』（「どちらかといえば、あてはまらない」+「あてはまらない」）の割合が最も高いのは、“自分は役に立たないと強く感じる”（74.0%）となっている。

国調査では『あてはまらない』（「どちらかといえば、あてはまらない」+「あてはまらない」）の割合が最も高いのは、“自分は役に立たないと強く感じる”（68.6%）となっている。



2 人とのつながりについて ★孤独感

<設問>以下のア)～ウ)の項目について、あなたはどれくらいよく感じていますか。

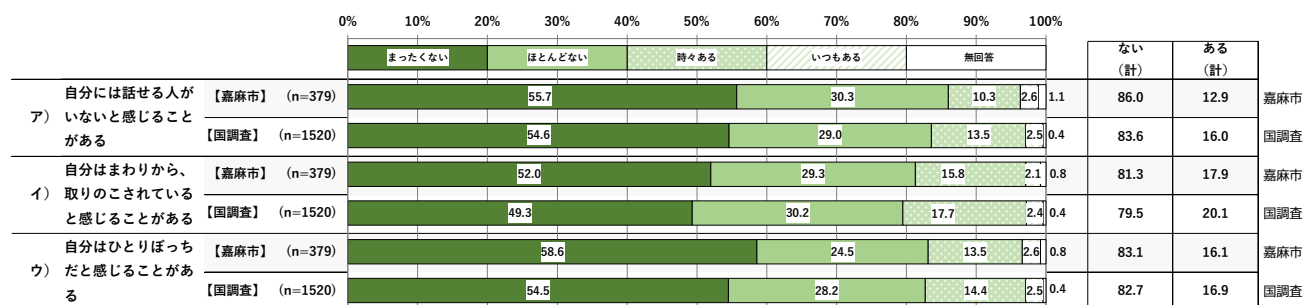
(それぞれについて1つ)

10～14歳

本市で『ない』(「ない」+「どちらかといえば、ない」)の割合が最も高いのは、“自分には話せる人がいないと感ずることがある”86.0%となっている。

国調査で『ない』(「ない」+「どちらかといえば、ない」)の割合が最も高いのは、“自分には話せる人がいないと感ずることがある”83.6%となっている。

本市と国調査を比較すると、本市が2.4ポイント高くなっている。



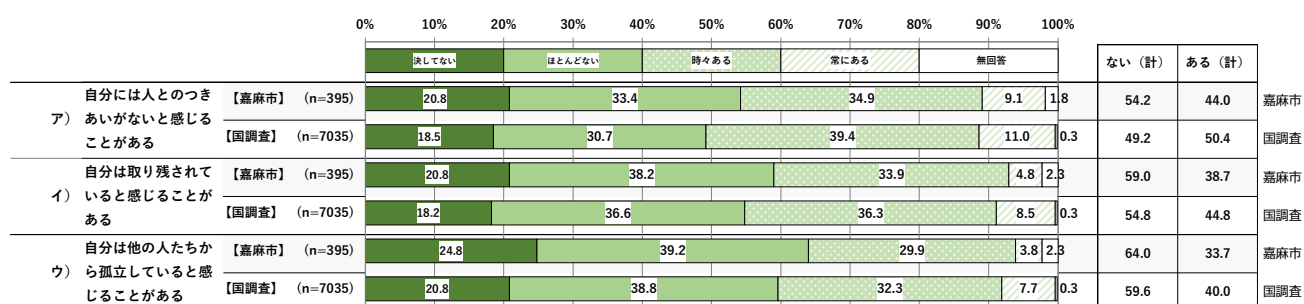
15～39歳

本市で『ない』(「決してない」+「ほとんどない」)の割合が最も高いのは、“自分は他の人たちから孤立していると感ずることがある”(64.0%)となっている。

国調査で『ない』(「決してない」+「ほとんどない」)の割合が最も高いのは、“自分は他の人たちから孤立していると感ずることがある”(59.6%)となっている。

また、本市で『ある』(「時々ある」+「常にある」)の割合が最も高いのは、“自分には人とのつきあいがいと感ずることがある”(44.0%)となっている。

国調査で『ある』(「時々ある」+「常にある」)の割合が最も高いのは、“自分には人とのつきあいがいと感ずることがある”(50.4%)となっている。



3 他者との関わり方 ★家族・親族との関わり方

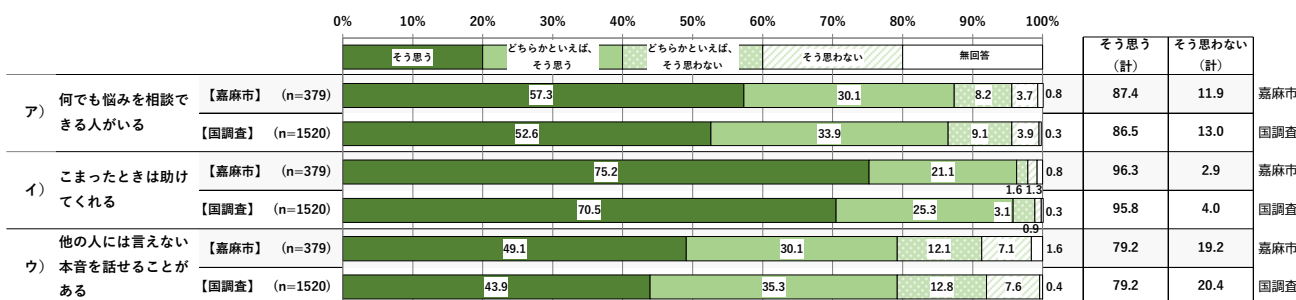
<設問>家族・親せきとあなたのかかわりは、どのようなものですか。(それぞれについて1つ)

10～14歳

本市で『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)の割合が最も高いのは、“こまったときは助けてくれる”96.3%となっている。

国調査で、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)の割合が最も高いのは、“こまったときは助けてくれる”95.8%となっている。

本市と国調査を比較すると、本市が0.5ポイント高くなっている。



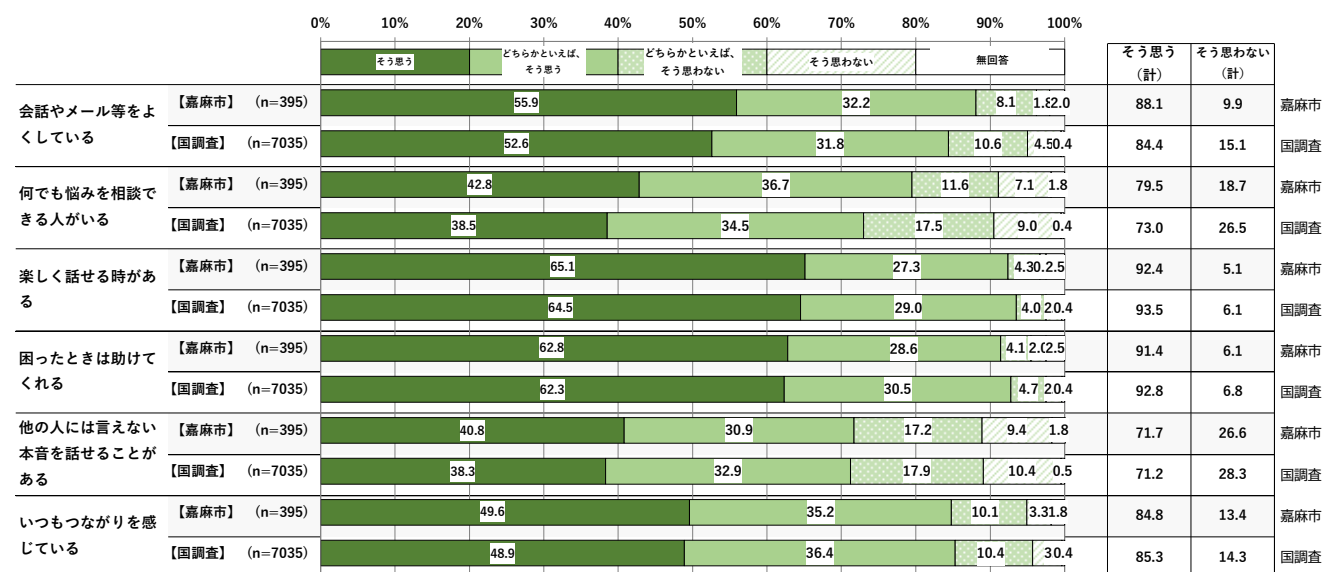
15～39歳

本市で『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」)の割合が最も高いのは、“楽しく話せる時がある” (92.4%) となっている。

国調査で『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」)の割合が最も高いのは、“楽しく話せる時がある” (93.5%) となっている。

また、本市で『そう思わない』(「どちらかといえば、そう思わない」+「そう思わない」)の割合が最も高いのは、“他の人には言えない本音を話せることができる” (26.6%) となっている。

国調査で『そう思わない』(「どちらかといえば、そう思わない」+「そう思わない」)の割合が最も高いのは、“他の人には言えない本音を話せることができる” (28.3%) となっている。



4 社会参加 ★社会貢献への意欲

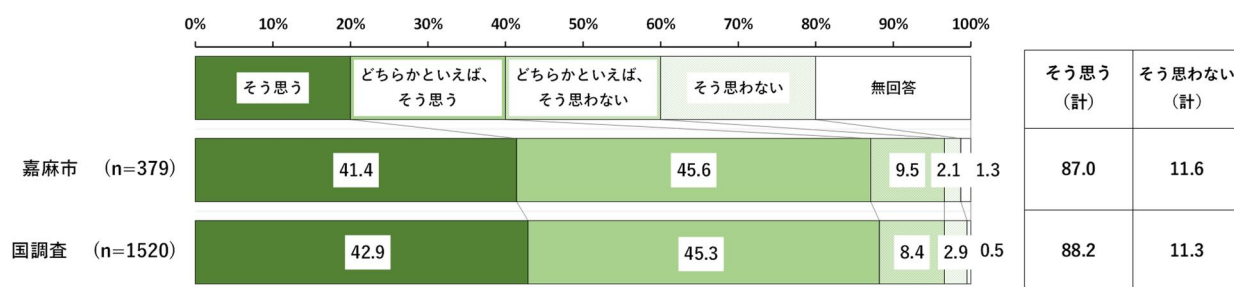
＜設問＞あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。（１つだけ）

10～14歳

本市では、「どちらかといえばそう思う」が45.6%と割合が最も高く、「そう思う」(41.4%)と合わせると87.0%となっている。

国調査では、「どちらかといえばそう思う」が45.3%と割合が最も高く、「そう思う」(42.9%)と合わせると88.2%となっている。

本市と国調査を比較すると、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた割合は、国調査が1.2ポイント高くなっている。

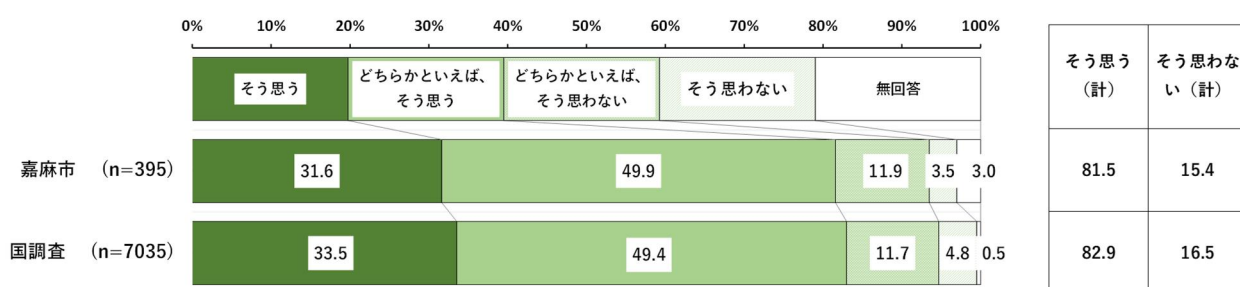


15～39歳

本市では、「どちらかといえば、そう思う」が49.9%と割合が最も高く、「そう思う」(31.6%)と合わせると81.5%となっている。

国調査では、「どちらかといえば、そう思う」が49.4%と割合が最も高く、「そう思う」(33.5%)と合わせると82.9%となっている。

本市と国調査を比較すると、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた割合は、国調査が1.4ポイント高くなっている。



5 将来像 ★将来への希望

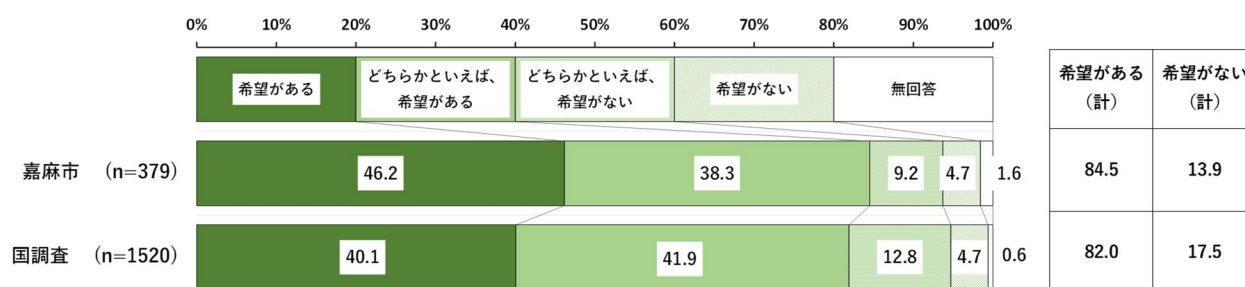
＜設問＞あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。（１つだけ）

10～14歳

本市では、「希望がある」が46.2%と割合が最も高く、「どちらかといえば、希望がある」(38.3%)と合わせると84.5%となっている。

国調査では、「どちらかといえば、希望がある」が41.9%と割合が最も高く、「希望がある」(40.1%)と合わせると82.0%となっている。

本市と国調査を比較すると、「希望がある」と「どちらかといえば、希望がある」を合わせた割合は、本市が2.5ポイント高くなっている。

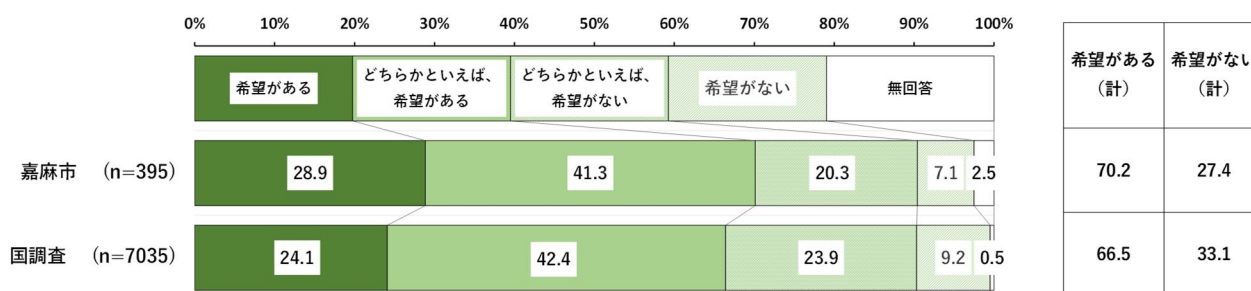


15～39歳

本市では「どちらかといえば、希望がある」が41.3%と割合が最も高く、「希望がある」(28.9%)と合わせると70.2%となっている。

国調査では「どちらかといえば、希望がある」が42.4%と割合が最も高く、「希望がある」(24.1%)と合わせると66.5%となっている。

本市と国調査を比較すると、「希望がある」と「どちらかといえば、希望がある」を合わせた割合は、本市が3.7ポイント高くなっている。



6 普段の活動 ★家でよくしていること

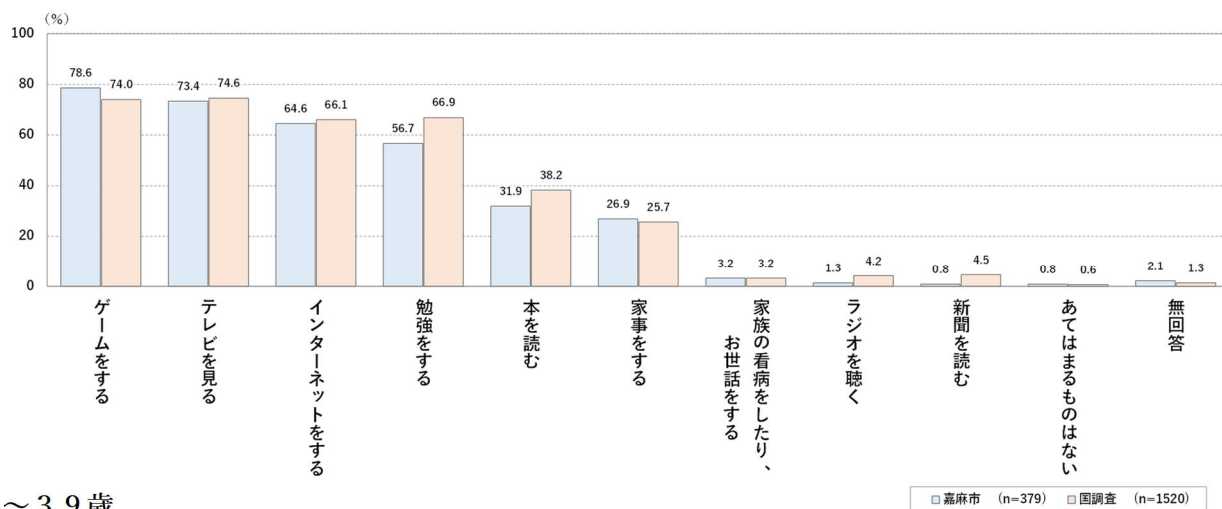
＜設問＞ふだん家（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（いくつでも）

10～14歳

本市では「ゲームをする」が78.6%と最も高く、次いで「テレビを見る」(73.4%)、「インターネットをする」(64.6%)、「勉強する」(56.7%)の順になっている。

国調査では「テレビを見る」が74.6%と最も高く、次いで「ゲームをする」(74.0%)、「勉強する」(66.9%)、「インターネットをする」(66.1%)の順になっている。

また、本市と国調査で最も差異があったのは、「勉強をする」(10.2ポイント差)となっている。

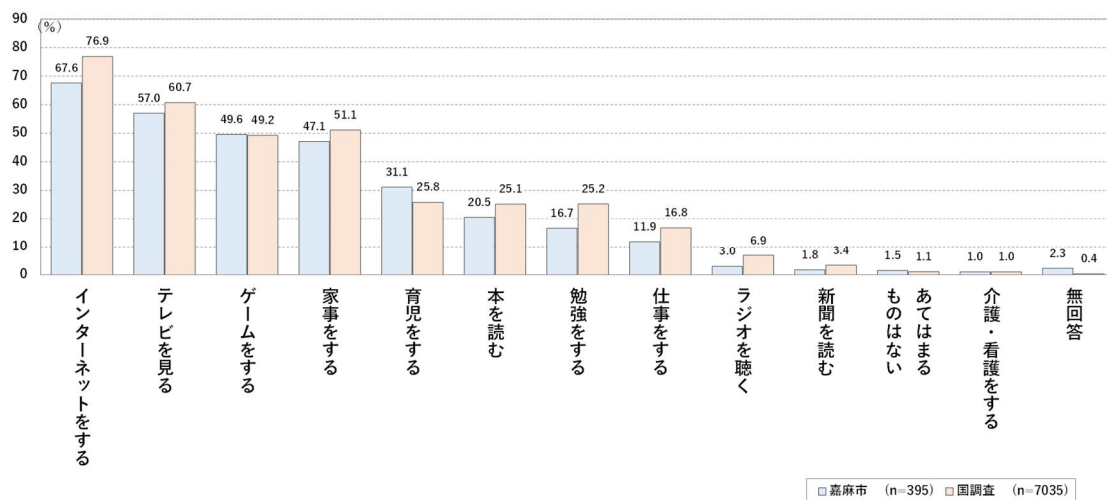


15～39歳

本市では「インターネットをする」(67.6%)が最も高く、次いで「テレビを見る」(57.0%)、「ゲームをする」(49.6%)の順になっている。

国調査では「インターネットをする」(76.9%)が最も高く、次いで「テレビを見る」(60.7%)、「家事をする」(51.1%)の順になっている。

また、本市と国調査で最も差異があったのは、「インターネットをする」(9.3ポイント差)となっている。

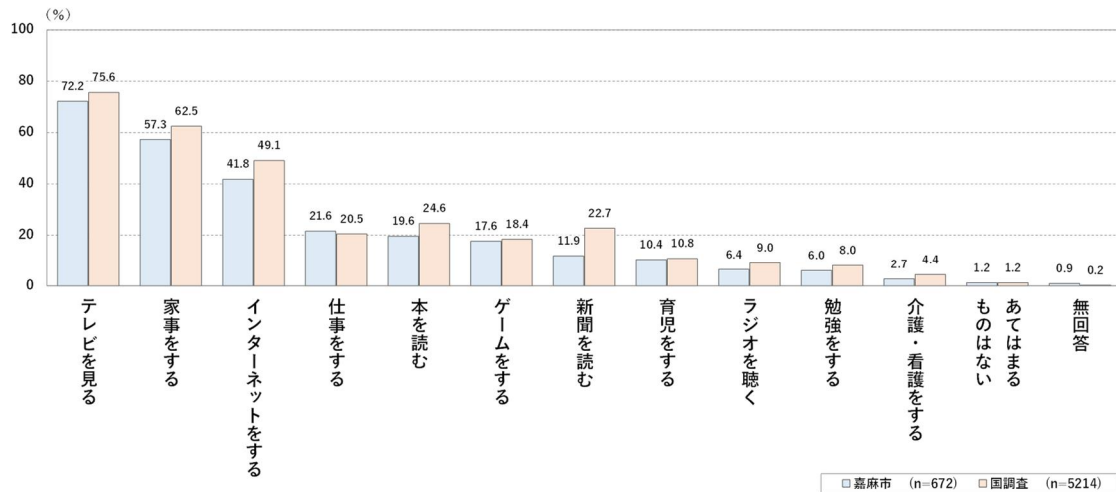


40～69歳

本市では「テレビを見る」(72.2%) が最も高く、次いで「家事をする」(57.3%)、「インターネットをする」(41.8%) の順になっている。

国調査では「テレビを見る」(75.6%) が最も高く、次いで「家事をする」(62.5%)、「インターネットをする」(49.1%) の順になっている。

また、本市と国調査で最も差異があったのは、「新聞を読む」(10.8 ポイント差) となっている。



7 外出状況 ★普段の外出頻度

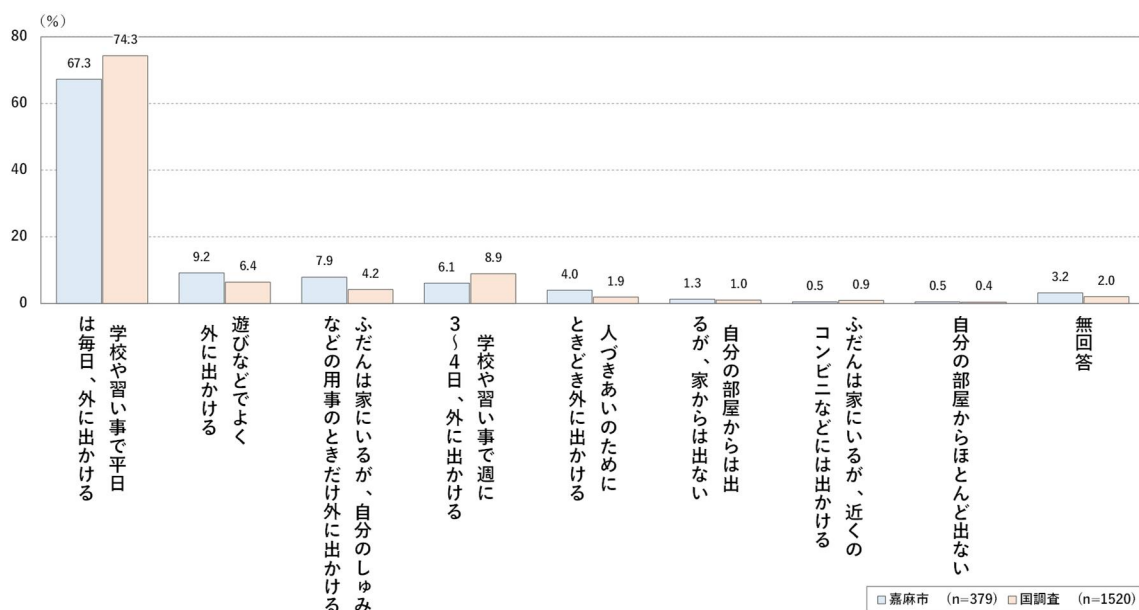
<設問>あなたはふだんどのくらい外に出かけますか。(1つだけ)

10～14歳

本市では「学校や習い事で平日は毎日、外に出かける」(67.3%) が最も高く、その他の選択肢については10%以下となっている。

国調査も本市同様に「学校や習い事で平日は毎日、外に出かける」(74.3%) が最も高く、その他の選択肢については10%以下となっている。

また、本市と国調査で最も差異があったのは、「学校や習い事で平日は毎日、外に出かける」(7.0 ポイント差) となっている。

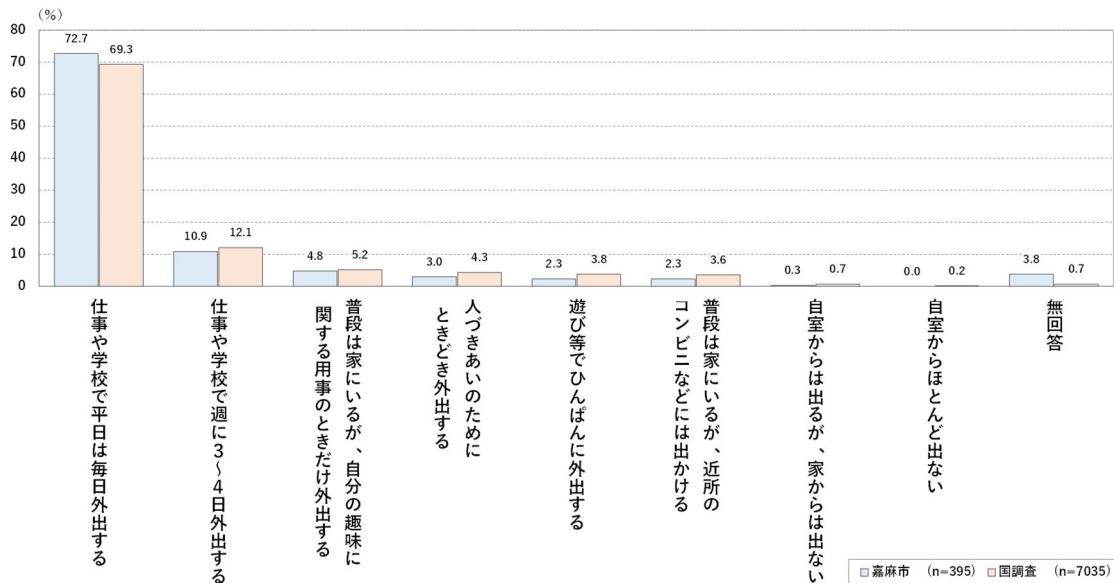


15～39歳

本市では「仕事や学校で平日は毎日外出する」(72.7%)が最も高く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」(10.9%)、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」(4.8%)の順になっている。

国調査では「仕事や学校で平日は毎日外出する」(69.3%)が最も高く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」(12.1%)、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」(5.2%)の順になっている。

また、本市と国調査で最も差異があったのは、「仕事や学校で平日は毎日外出する」(3.4ポイント差)となっている。

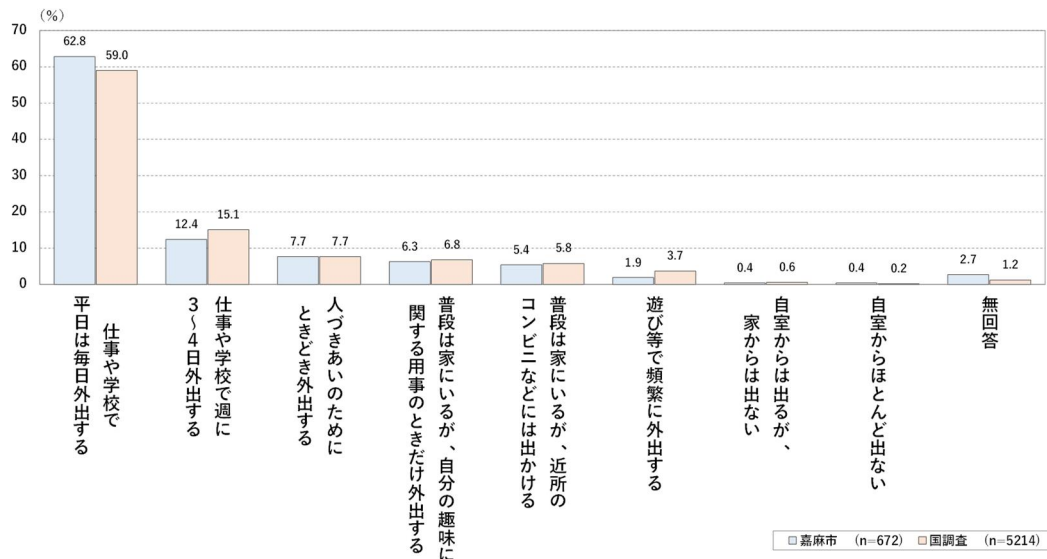


40～69歳

本市では「仕事や学校で平日は毎日外出する」(62.8%)が最も高く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」(12.4%)、「人づきあいのためにときどき外出する」(7.7%)の順になっている。

国調査では「仕事や学校で平日は毎日外出する」(59.0%)が最も高く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」(15.1%)、「人づきあいのためにときどき外出する」(7.7%)の順になっている。

また、本市と国調査で最も差異があったのは、「仕事や学校で平日は毎日外出する」(3.8ポイント差)となっている。



8 困難に直面した経験 ★困難に直面した経験

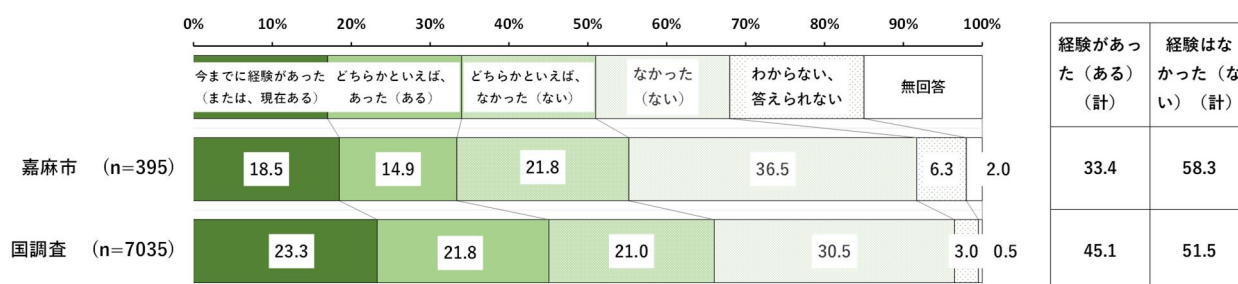
＜設問＞あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。
 または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送っていない状況がありますか。最もあてはまるものを選んでください。（1つだけ）

15～39歳

本市では、「なかった」が36.5%と割合が最も高く、「どちらかといえば、なかった」(21.8%)と合わせると58.3%となっている。

国調査では、「なかった」が30.5%と割合が最も高く、「どちらかといえば、なかった」(21.0%)と合わせると51.5%となっている。

本市と国調査を比較すると、「なかった」と「どちらかといえば、なかった」を合わせた割合は、本市が6.8ポイント高くなっている。

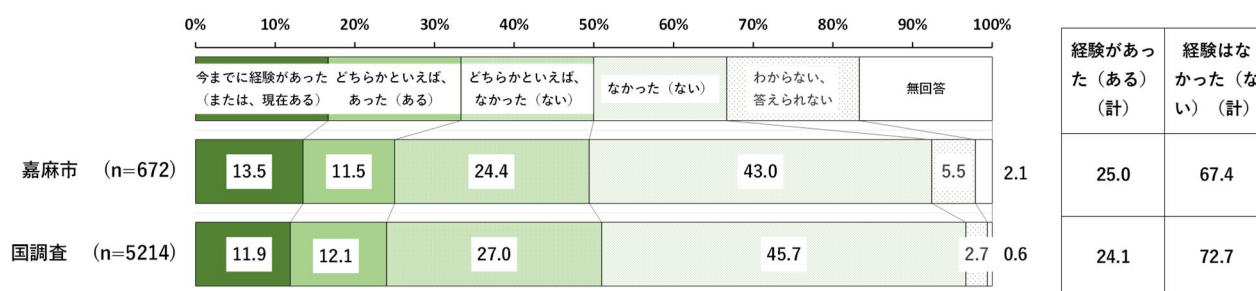


40～69歳

本市では「なかった(ない)」が43.0%と割合が最も高く、「どちらかといえば、なかった(ない)」(24.4%)と合わせると67.4%となっている。

国調査では「なかった(ない)」が45.7%と割合が最も高く、「どちらかといえば、なかった(ない)」(27.0%)と合わせると72.7%となっている。

本市と国調査を比較すると、「なかった(ない)」と「どちらかといえば、なかった(ない)」を合わせた割合は、本市が5.3ポイント低くなっている。



★困難な状態から改善したきっかけ

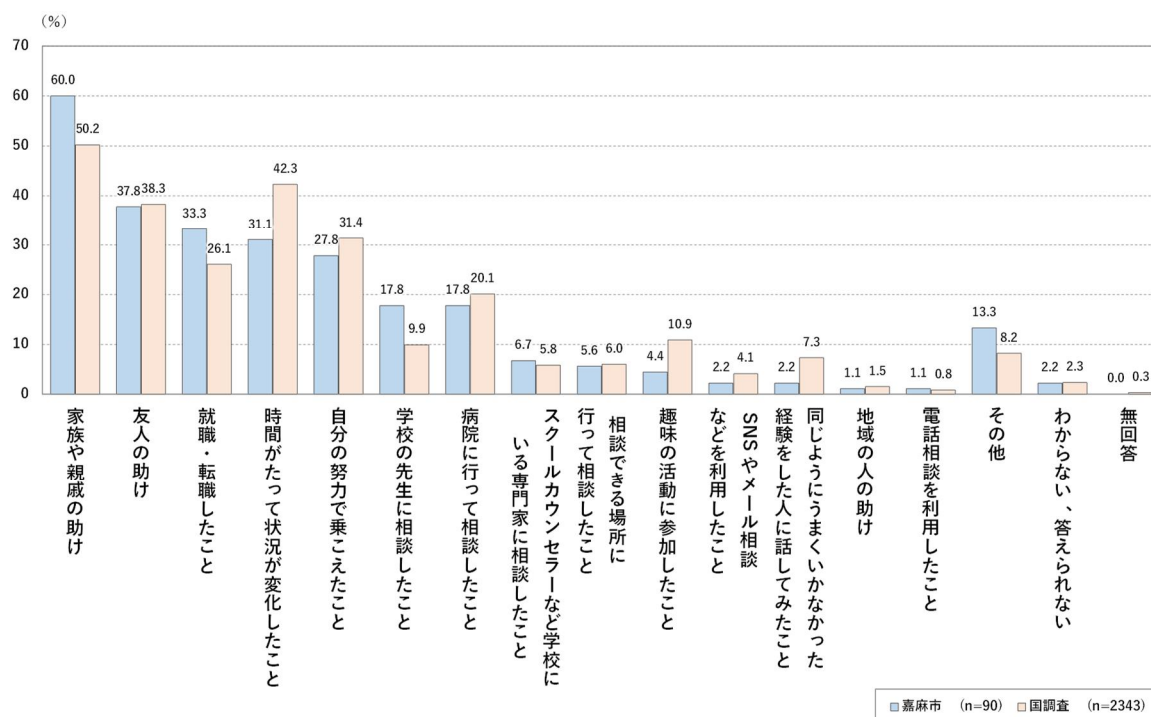
＜設問＞状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか。（いくつでも）

15～39歳

本市では「家族や親戚の助け」（60.0%）が最も高く、次いで「友人の助け」（37.8%）、「就職・転職したこと」（33.3%）の順になっている。

国調査では「家族や親戚の助け」（50.2%）が最も高く、次いで「時間がたって状況が変化したこと」（42.3%）、「友人の助け」（38.3%）の順になっている。

また、本市と国調査で最も差異があったのは、「時間がたって状況が変化したこと」（11.2 ポイント差）となっている。

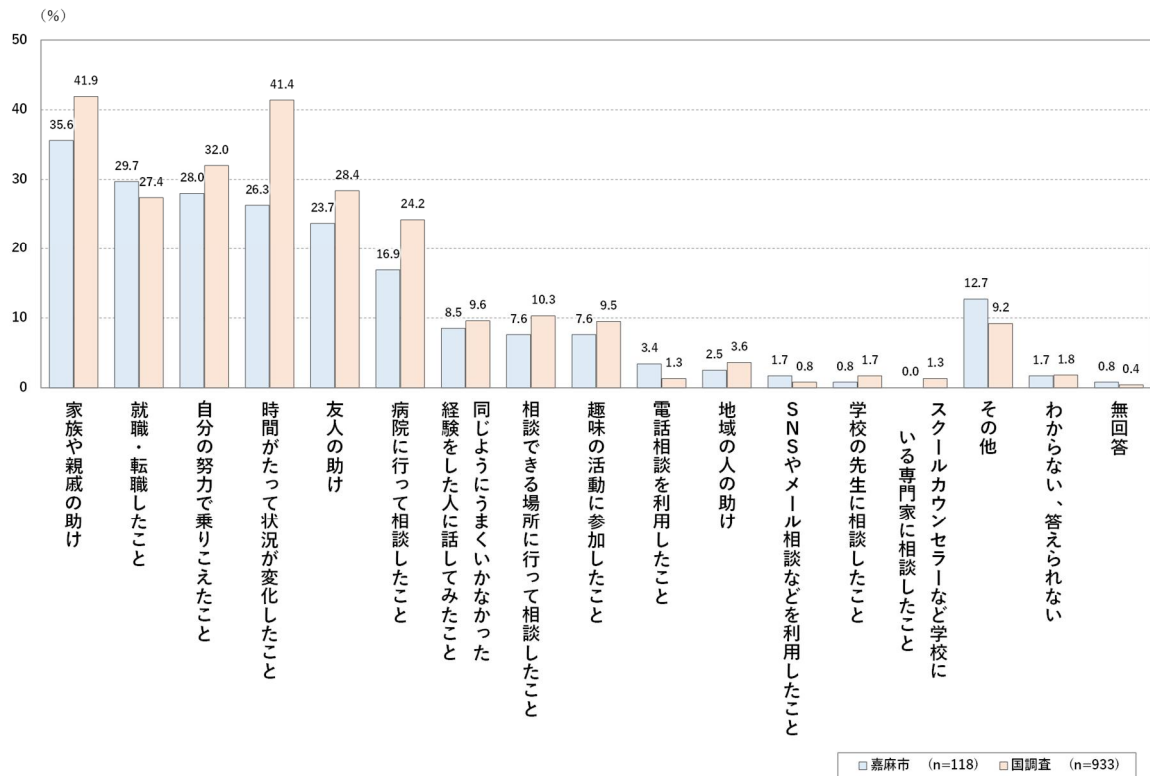


40～69歳

本市では「家族や親戚の助け」(35.6%)が最も高く、次いで「就職・転職したこと」(29.7%)、「自分の努力で乗りこえたこと」(28.0%)の順になっている。

国調査では「家族や親戚の助け」(41.9%)が最も高く、次いで「時間がたって状況が変化したこと」(41.4%)、「自分の努力で乗りこえたこと」(32.0%)の順になっている。

また、本市と国調査で最も差異があったのは、「時間がたって状況が変化したこと」(15.1ポイント差)となっている。



9 相談・支援 ★相談先に求めること

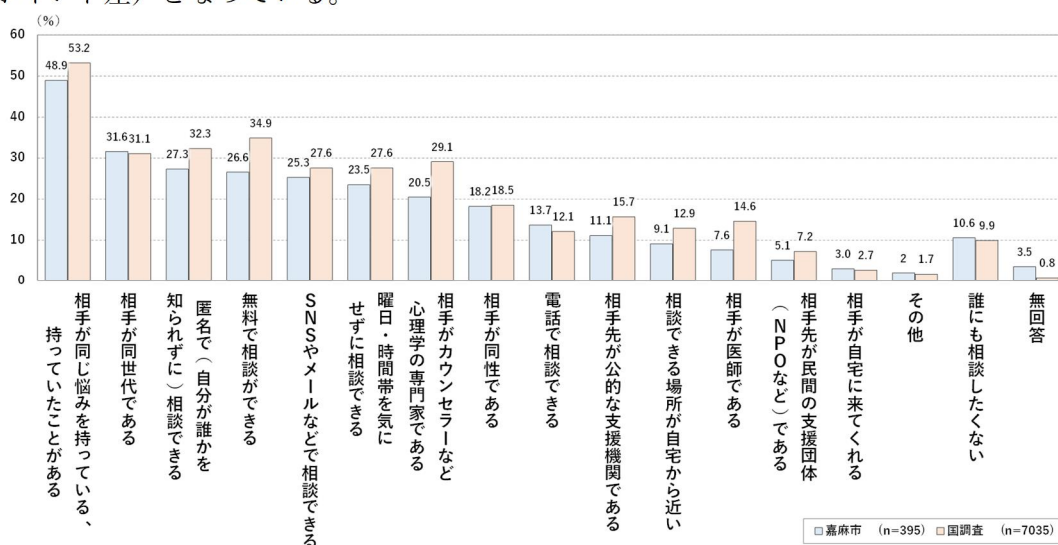
＜設問＞あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。

(いくつでも)

15～39歳

本市では「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」(48.9%)が最も高く、次いで「相手が同世代である」(31.6%)、「匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる」(27.3%)の順になっている。

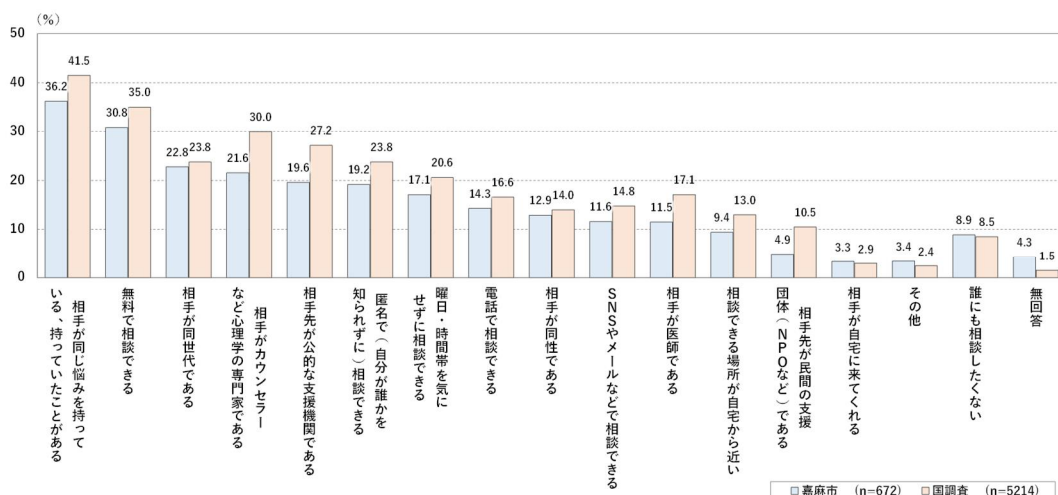
国調査では「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」(53.2%)が最も高く、次いで「無料で相談ができる」(34.9%)、「匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる」(32.3%)の順になっている。また、本市と国調査で最も差異があったのは、「相手がカウンセラーなど心理学の専門家である」(8.6ポイント差)となっている。



40～69歳

本市では「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」(36.2%)が最も高く、次いで「無料で相談できる」(30.8%)、「相手が同世代である」(22.8%)の順になっている。

国調査では「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」(41.5%)が最も高く、次いで「無料で相談できる」(35.0%)、「相手がカウンセラーなど心理学の専門家である」(30.0%)の順になっている。また、本市と国調査で最も差異があったのは、「相手がカウンセラーなど心理学の専門家である」(8.4ポイント差)となっている。

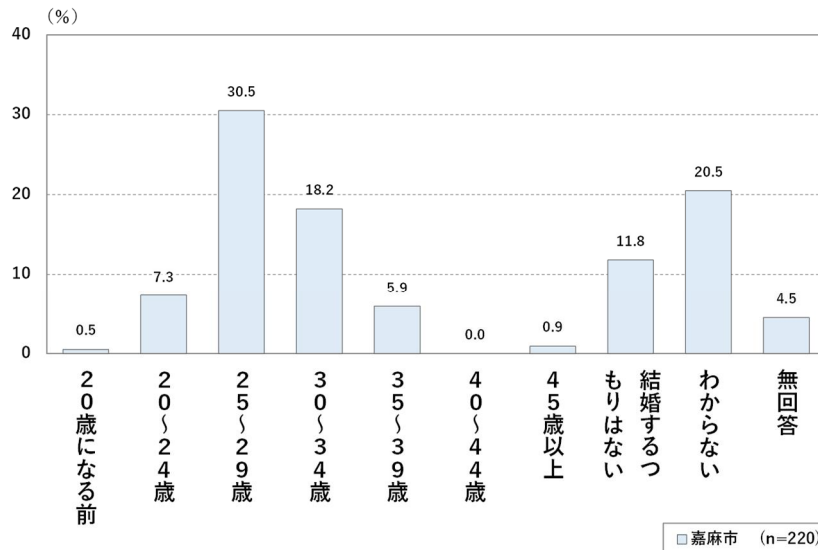


10 嘉麻市独自の質問 ★希望する結婚年齢（15～39歳）

＜設問＞あなたが希望する結婚年齢を教えてください。（1つだけ）

本市で「希望する結婚年齢」を聞いたところ、「25～29歳」（30.5%）が最も多く、次いで「わからない」（20.5%）、「30～34歳」（18.2%）、の順になっている。

また、「結婚するつもりはない」と回答した人は11.8%となっている。

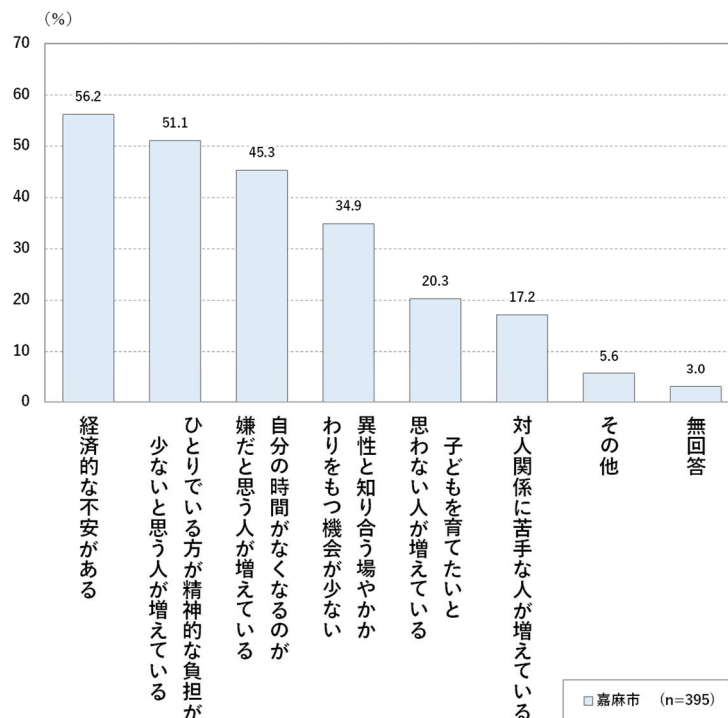


★結婚しない人が増えている理由（15～39歳）

＜設問＞

最近、結婚しない人が増えている理由や原因として、考えられるものは何だと思いますか。（3つまで）

本市で「結婚しない人が増えている理由」を聞いたところ、「経済的な不安がある」（56.2%）が最も多く、次いで「ひとりである方が精神的な負担が少ないと思う人が増えている」（51.1%）、「自分の時間がなくなるのが嫌だと思える人が増えている」（45.3%）の順になっている。

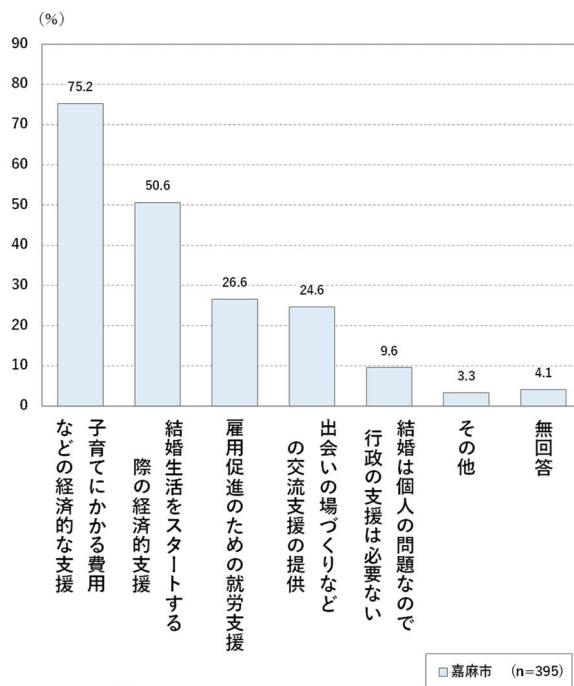


★結婚時の支援（15～39歳）

＜設問＞あなたが結婚について考えたときに、どのような支援があればいいと思いますか。

（いくつでも）

本市で「結婚時の支援」を聞いたところ、「子育てにかかる費用などの経済的な支援」（75.2%）が最も多く、次いで「結婚生活をスタートする際の経済的支援」（50.6%）、「雇用促進のための就労支援」（26.6%）の順になっている。

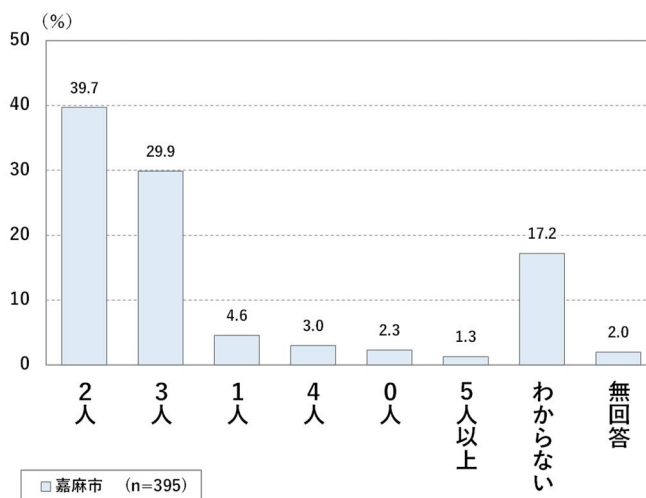


★理想とする子どもの人数（15～39歳）

＜設問＞

あなたが理想とする子どもの人数をお答えください。（1つだけ）

本市で「あなたが理想とする子どもの人数」を聞いたところ、「2人」（39.7%）が最も多く、次いで「3人」（29.9%）、「1人」（4.6%）の順になっている。

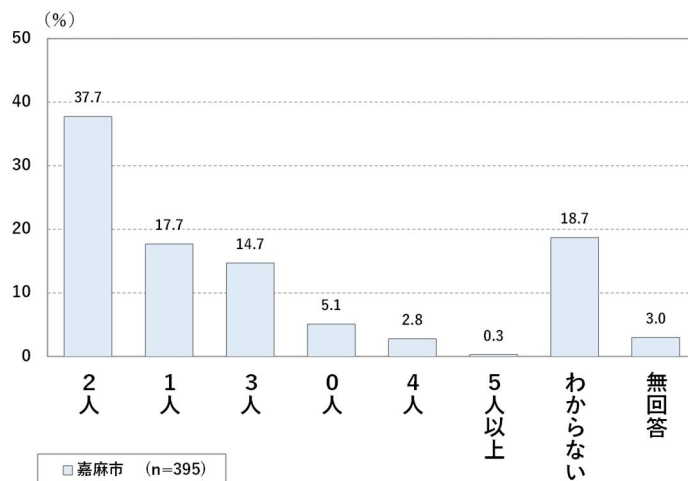


★現実的に持てる子どもの人数（１５～３９歳）

<設問>

あなたが現実的に持てると思う子どもの人数をお答えください。（１つだけ）

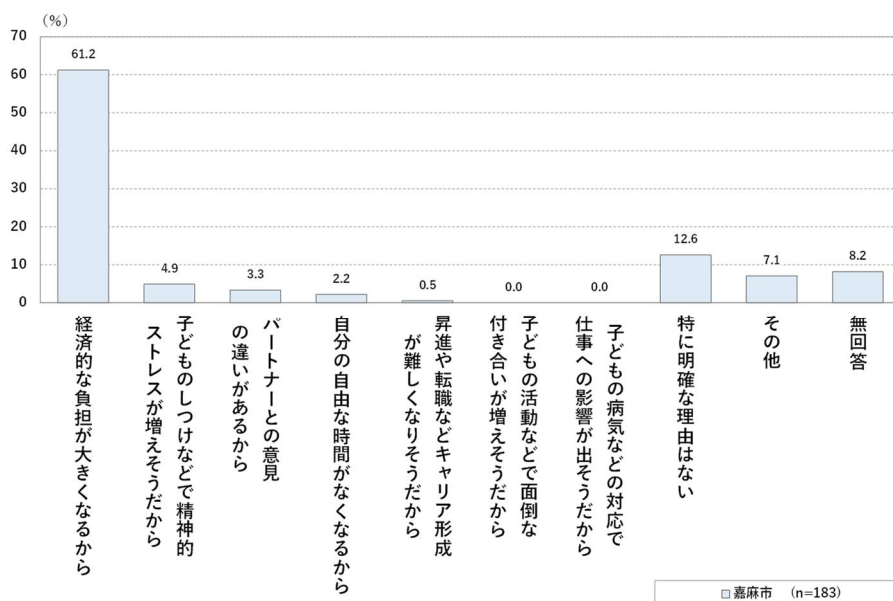
本市で「あなたが現実的に持てると思う子どもの人数」を聞いたところ、「２人」（37.7％）が最も多く、次いで「１人」（17.7％）、「３人」（14.7％）の順になっている。



★理想と現実的な人数が違う理由（１５～３９歳）

<設問>理想と現実的な人数が違う理由についてあてはまるものをお答えください。（１つだけ）

本市で「理想と現実的な人数が違う理由」を聞いたところ、「経済的負担が大きくなるから」（61.2％）が最も多く、次いで「特に明確な理由はない」（12.6％）の順になっている。「特に明確な理由はない」、「その他」を除くと「子どものしつけなどで精神的ストレスが増えそうだから」（4.9％）、「パートナーとの意見の違いがあるから」（3.3％）の順になっている。

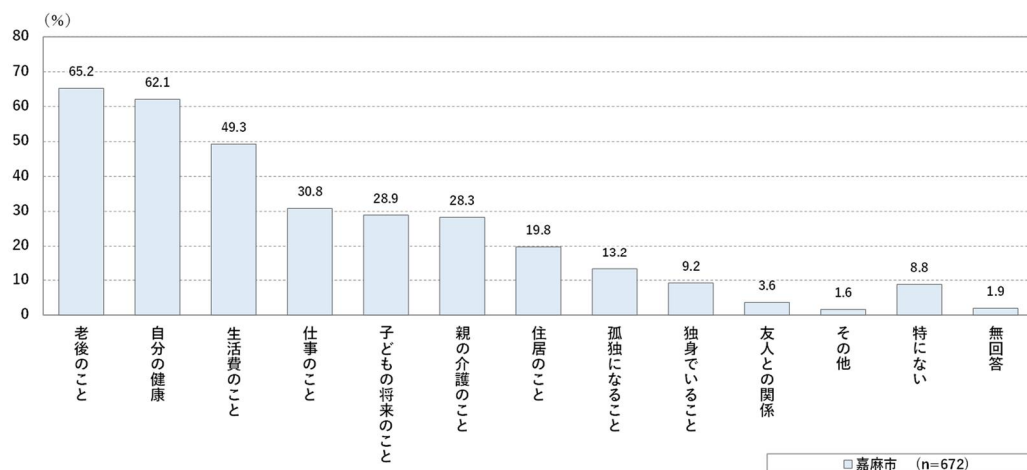


★将来への不安（４０～６９歳）

＜設問＞あなたは、将来への不安がありますか。あるときは、どのようなものがありますか。

（いくつでも）

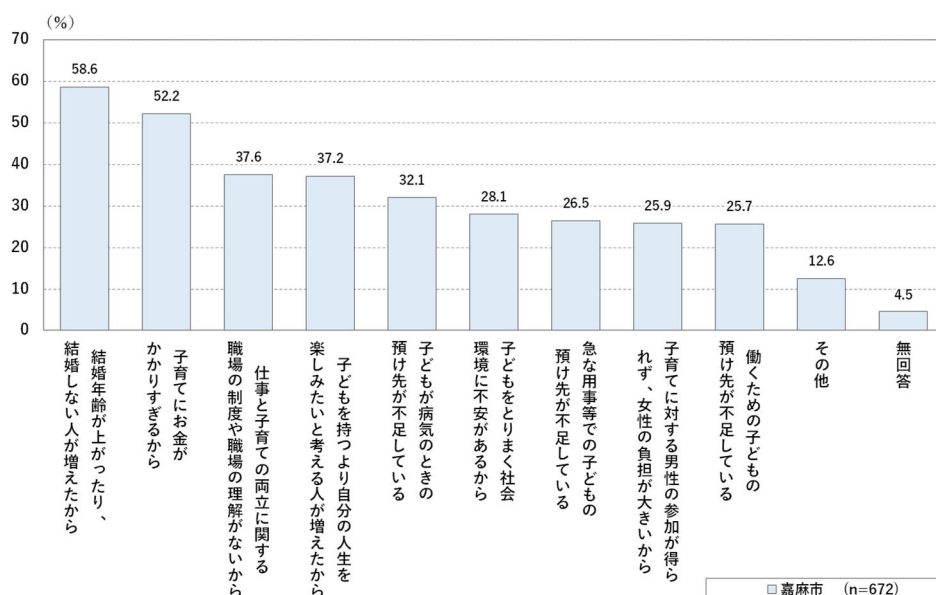
将来への不安を聞いたところ「老後のこと」（65.2％）が最も高く、次いで「自分の健康」（62.1％）、「生活費のこと」（49.3％）、「仕事のこと」（30.8％）の順になっている。



★少子化の要因（４０～６９歳）

＜設問＞嘉麻市において少子化が急激に進行していることの要因として、どのようなことが考えられると思いますか。（いくつでも）

少子化の要因を聞いたところ「結婚年齢が上がったり、結婚しない人が増えたから」（58.6％）が最も高く、次いで「子育てにお金がかかりすぎるから」（52.2％）、「仕事と子育ての両立に関する職場の制度や職場の理解がないから」（37.6％）の順になっている。



嘉麻市子ども・若者の意識と生活に関する調査 令和５年度 報告書【概要版】

発行：嘉麻市子育て支援課（令和６年３月）

住所：〒820-0592 嘉麻市上臼井 446 番地 1